



特定非営利活動法人

日本免疫学会

Japanese Society for Immunology

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-6-2 原島三崎町ビル 2F
Harashima-Misaki-cho Bldg. 2F,
3-6-2 Misaki-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 101-0061, Japan
Tel: +81-3-3511-9795 Fax: +81-3-3511-9788
e-mail: men-eki@s3.dion.ne.jp
URL: <http://www.jsi-men-eki.org/>

平成 29 年 8 月 31 日

ご関係者各位

拝啓

初秋の候、皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、日本免疫学会は平成 26 年度より、本学会名誉会員岸本忠三先生のご寄附をもとに、日本の免疫学の将来を担う若手研究者の育成を目的に、「岸本忠三・若手研究者育成事業」の一環として「きぼう」プロジェクトを行っています。この度、平成 30 年度「きぼう」プロジェクトとして下記の二つの若手支援の募集を行いますので、ご案内申し上げます。

つきましては、同封ポスターを貴施設・貴研究室等にご掲示いただき、該当する大学院生及び、優秀な候補者の留学生に周知をお願い申し上げます。

なお、募集要項及び申請書類につきましては、本学会HP(<http://www.jsi-men-eki.org/>)に随時掲載してまいります。

何卒ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

特定非営利活動法人 日本免疫学会
理事長 坂口 志文

記

免疫学博士課程学生支援 優秀な大学院生に対する経済的支援

若手研究者に、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、経済面だけでなく教育・研究面でも研究コミュニティとして支援することは、日本免疫学会の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成する上で極めて重要です。本学会は、こうした観点から「岸本忠三・若手研究者育成事業」の一環として、免疫学領域の優秀な博士課程大学院生に対して、奨学金を支給いたします。

募集期間 平成29年11月13日(月)～平成29年12月29日(金)

対象者 平成30年4月1日において、我が国の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者。

- ①博士課程後期第1年次に在学する予定の者
- ②一貫制の博士課程第3年次に在学する予定の者
- ③後期3年の課程のみの博士課程第1年次に在学する予定の者
- ④医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第2年次に在学する予定の者

対象分野 免疫学領域全般(日本免疫学会非会員でも可)

採用予定数 大学院博士課程在学者 1年につき、最大5名

支給期間 平成30年4月1日～平成33年3月31日までの3年間

研究従事機関 在学する我が国の大学院研究科

奨学金支給額 一人当たり年間300万円

免疫学若手研究者自立支援 海外留学等からの帰国者に対する経済的支援

現在、若手研究者の海外留学が奨励され、留学支援を行う様々な制度が存在しますが、海外留学を目指す若手研究者はむしろ減少していると言われています。その理由の一つとして、留学先で卓越した成果を上げて帰国後研究を継続して行える独立した職に就ける機会が非常に少ないということが挙げられます。本プロジェクトでは、現在留学中で免疫学領域の研究を進めている優秀な若手研究者に対して、帰国後に安定して研究を行える機会を与え研究者としてのキャリアアップを支援します。

募集期間 平成29年9月1日(金)～平成29年12月29日(金)

申請資格 博士の学位を有する者とします。但し、海外留学等から帰国を計画している、着任時年齢 45 歳以下の若手免疫研究者。

対象分野 免疫学領域全般

採用予定数 年俸制研究員として、1年度(4月1日から翌年3月31日)につき若干名を採用
※採用者に対しては「岸本フェロー」の称号を与えます。

採用期間 着任から3年間

独立支援費 独立した研究者としての給与、雇用にかかる諸費用(職位、給与等は所属する機関の諸規定に従います。)と研究費を合わせ、年間 1,500 万円を受け入れ研究機関を通して支援します。

研究場所 採用後に自身の研究を実施するための国内大学の研究場所等(受入先)については、事前に内諾を得るなど、自ら準備しておく必要があります。